

入札説明書

1 一般競争入札に付する事項

- (1) 工事名
福井県立大学海洋生物資源臨海研究センター
研究棟屋上等修繕工事
- (2) 工事場所
福井県小浜市堅海49-8-2
公立大学法人福井県立大学海洋生物資源臨海研究センター
- (3) 工事期間
契約締結の日から平成30年11月30日（金）まで
- (4) 工事概要
別紙設計図書のとおり
- (5) 設計額
15,450,000円（消費税および地方消費税相当分を除く。）
- (6) 入札方式
制限付き一般競争入札（事後審査）
- (7) 総合評価落札方式の適用の有無
無

2 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

この入札に参加することができる者は、公立大学法人福井県立大学契約事務取扱細則（以下「事務細則」という。）第4条に基づき定める競争参加者の資格を有する者で、次に掲げる条件をすべて満たす者とする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者でないこと。
- (2) 入札の日において現に福井県の指名停止措置を受けている者でないこと。
- (3) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立ておよび民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、福井県が別に定める手続に基づく競争入札参加資格の再認定を受けている者であること。
- (4) 平成29・30年度福井県競争入札参加資格者名簿（建設工事）県内建設業者に業種「建築一式工事」で登録されている者で、「等級A」、「等級B」または「等級C」で登録されている者であること。
- (5) 福井県嶺南振興局小浜土木事務所管内に主たる営業所を有する者であること。
- (6) 監理技術者等（※2）（自社と3か月以上の継続的な雇用関係が確認できる者に限る。）をこの工事の現場に配置できること。

なお、この工事を落札した場合の契約金額が3,500万円以上となる場合には、

専任で配置できること。ただし、建設業法施行令（昭和31年政令第273号）第27条第2項に該当する場合は、この限りではない。

監理技術者にあつては、監理技術者資格者証および監理技術者講習修了証を有する者であること。

※1、※2・・・一般競争入札公告共通事項の《用語解説》を参照すること。

（7）次のアからオまでのいずれにも該当しない者であること。

ア 役員等（個人である場合にはその者を、法人である場合にはその役員またはその支店もしくは常時契約を締結する事務所を代表する者をいう。以下同じ。）が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）である者

イ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）または暴力団員が経営に実質的に関与している者

ウ 役員等が自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもって、暴力団または暴力団員の利用等をしている者

エ 役員等が、暴力団もしくは暴力団員に対して資金等を供給し、または便宜を供与するなど直接的もしくは積極的に暴力団の維持運営に協力し、または関与している者

オ 役員等が暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

3 工事の主たる部分の明示について

工 種	備 考
総合的な企画、指導、調整	—

- ・上記に記載する工種は下請に付すことができないものとする。
- ・上記に記載する工種に含まれる附帯工事、仮設工、準備工、雑工その他基礎的または準備的な工事は下請に付すことができる。

4 入札説明書等の交付等に関する事項

（1）入札説明書等の交付場所、契約条項を示す場所、契約に関する事務を担当する部局の名称および所在地ならびにこの入札に関する問合せ先

〒917-0003 福井県小浜市学園町1-1

公立大学法人福井県立大学小浜キャンパス企画サービス室

電話 0770-52-6300

（2）入札説明書等の交付方法

入札説明書等は本学ホームページで公開する。

5 入札説明書等に関する質問書の提出期限、提出方法および提出先

（1）提出期限

平成30年8月17日（金）午後3時

(2) 提出先

4 (1) に同じ

(3) 提出方法

質問がある場合は、様式1による質問書に質問内容を記載し、事前に電話連絡のうえ、FAXまたはE-mailで提出すること。(E-mailの場合は、タイトルを「福井県立大学海洋生物資源臨海研究センター 研究棟屋上等修繕工事」とする。)

(4) 質問に対する回答は、質問者に対して書面により速やかに行うものとする。ただし、質問および回答の内容により他の入札参加者等に公開する場合がある。

(5) 入札説明書等に係らない事項についての質問は、平成30年8月21日(火)午後3時までとし、電話によるものも認める。

6 入札書の提出方法等

(1) 入札参加者は、様式2による入札参加申請書を平成30年8月20日(月)午後4時までに、入札等に関する事務を担当する4(1)の部局へ持参して提出すること。

(2) 入札書の提出方法

入札参加者は、様式3による入札書を6(3)の日時および場所に持参して提出すること。

なお、郵便等または電報による入札書の提出は、認めない。

(3) 入札の日時および場所

ア 日時

平成30年8月22日(水)午前11時

イ 場所

福井県小浜市学園町1-1

公立大学法人福井県立大学小浜キャンパス交流センター102セミナー室

(4) 工事費内訳書の提出方法

工事費内訳書は入札書とともに同封し、提出すること。

(一般競争入札公告共通事項の7および工事費内訳書提出要領(工事内訳書提出・確認)を確認すること。)

7 入札の方法等

(1) 入札参加者は、入札公告および入札説明書ならびに事務細則、同要領、その他の規程等を熟読し、入札心得(別紙)を遵守の上、入札に参加しなければならない。

(2) 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額に、当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額(加算後の金額に1円未満の端数金額があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって落札金額とするので、入札参加者は、消費税および地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

(3) 代理人が入札しようとするときは、様式4による入札参加者の委任状を持参し、入

札開始前に入札執行者に提出しなければならない。また、この場合、必ず入札書に代理人名を記載し押印すること。

- (4) 入札参加者または入札代理人は、当該入札に対する他の入札参加者の代理をすることはできない。
- (5) 入札参加者または入札代理人は、入札書を提出した後は、開札の前後を問わず入札書の引き換え、または入札の取り消しをすることはできない。
- (6) 開札は、入札参加者または入札代理人を立ち合わせて行う。ただし、入札参加者または入札代理人が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。

8 入札保証金に関する事項

(1) 入札保証金の免除

入札参加者が、次の場合に該当する場合は、入札保証金の納付を免除する。

ア 入札参加者が、保険会社との間に本学を被保険者とする入札保証保険契約を締結し、当該保険証券を提出したとき。

イ 事務細則に基づき競争入札参加の資格を有する者について、その者が契約を締結しないこととなる恐れがないと認められるとき。

(2) 入札保証金の納付

前号の規定による入札保証金の納付免除に該当しない入札参加者は、見積もった金額（入札書記載価格に当該金額の100分の8に相当する額を加算した額）に対する100分の5以上の入札保証金を、平成30年8月22日（水）9時から9時15分までに、本学小浜キャンパス企画サービス室に納入しなければならない。

なお、落札しなかった者の入札保証金は、落札決定後、即日還付する。

(3) 入札保証金を納付する場合、納付に代えて提供できる担保

ア 国債、地方債

イ 鉄道債券、首都高速道路債券、公営企業債券、道路債券、北海道東北開発債券、電源開発株式会社債券、阪神高速道路債券

ウ 銀行、信託会社、保険会社、信用金庫、信用金庫連合会、労働金庫、労働金庫連合会、農林中央金庫、商工組合中央金庫、信用協同組合、農業協同組合、水産協同組合、塩業組合、その他貯金の受入れを行なう組合が振出しまたは支払保証をした小切手

エ 日本銀行担保、適格社債（公募社債）（例 鉄道債、電力債等の事業債）

なお、以上に掲げた担保の価値は、国債および地方債については額面金額、小切手については小切手額、その他のものについては市場価格（当該入札日前1週間程度における価格とし、その判定は、東京株式の取引価格とする。）の8割に相当する金額とする。

9 入札の無効に関する事項

公立大学法人福井県立大学契約事務取扱細則第21条第1項の規定に該当する入札、申請書等を提出期限までに提出しなかった者、資格審査の申請において虚偽の申請を行った者のした入札、入札書の金額と入札内訳書の合計金額が相違した入札および入札説明書等に示した入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

<事務取扱細則第21条第1項>

(無効の入札書)

第21条 次の各号の一に該当する入札書は、これを無効なものとして処理しなければならない。

- 一 入札公告および入札説明書に示した競争に参加する資格のない者の提出した入札書
- 二 調達件名および入札金額のないもの
- 三 競争参加者本人の氏名（法人の場合は、その名称または商号および代表者の氏名）および押印のないまたは判然としないもの
- 四 代理人が入札する場合は、競争参加者本人の氏名（法人の場合は、その名称または商号および代表者の氏名）、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名および押印のないまたは判然としないもの（記載のないまたは判然としない事項が、競争参加者本人の氏名（法人の場合は、その名称または商号および代表者の氏名）または代理人であることの表示である場合には、正当な代理人であることが代理委任状その他で確認されたものを除く）
- 五 調達件名に重大な誤りがあるもの
- 六 入札金額の記載が不明確のもの
- 七 入札金額の記載を訂正したもので、その訂正について印の押していないもの
- 八 公告等および入札説明書に示した競争参加者等に要求される事項を履行しなかった者の提出したもの
- 九 その他入札に関する条件に違反した入札書

10 再度の入札

予定価格の制限の範囲内に入札がないときは、再度の入札をすることがある。この場合における入札の回数は初回を合わせて2回を限度とする。

なお、再度の入札執行は、前回の開札終了後10分以内において行うものとする。

11 落札候補者の決定に関する事項

- (1) この入札に係る工事の予定価格の制限の範囲内で最低制限価格以上の価格をもって入札をした者のうち、最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札候補者とする。
- (2) 前号の場合において、落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせて落札候補者を決定する。
- (3) 前号の場合において、当該入札者のうちくじを引かない者があるときは、これに代

わって入札事務に関係のない職員にくじを引かせて落札候補者を決定する。

1 2 落札候補者の入札参加資格に関する事後審査および落札者の決定に関する事項

- (1) 入札後に入札参加資格確認申請書等提出依頼を受けた落札候補者は、平成30年8月23日(木)午後4時までに、次の書類を入札等に関する事務を担当する4(1)の部局へ持参して提出すること。

なお、書類の作成は入札説明書とともに交付する様式を使用すること。

ア 入札参加資格確認申請書(様式第1号)

イ 同種同程度の工事の施工実績(様式第2号)

※平成10年度以降において、元請として、鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物の新築等(新築、増築、改築をいい、改修を含まない。)または改修の工事で、防水工事を含む工事の実績を有すること。

ウ 配置予定の現場代理人および監理技術者等の資格、経歴、経験等(様式第3号)

※監理技術者等の資格を確認するための資料(資格者証の写等)

※自社と3か月以上の雇用関係を確認するための資料(健康保険証の写等)

※監理技術者等の施工経験は問わない。

エ 誓約書(別紙)

※この入札の審査基準日(この入札において入札書を提出する時点)において、この工事に配置できないものを監理技術者として申請する場合

オ 経營業務管理責任者および営業所の専任技術者の一覧表(別紙様式1)

カ 誓約書(様式第3号の3)

- (2) 落札候補者から提出のあった書類を審査し、入札参加資格があると認める場合は当該落札候補者を落札者とし、その者に通知する。

- (3) 落札候補者が提出期限までに入札参加資格確認申請書等を提出しないとき、または審査の結果、当該落札候補者に入札参加資格がないと認める場合は、その者の入札を無効とし通知する。この場合には、当該落札候補者の次に低い価格で入札した者を落札候補者とし、入札参加資格があることの確認ができるまで、同様の手続を行うものとする。

- (4) 入札参加資格がない旨の通知を受けた者に対する理由の説明

ア 入札参加不適格の通知を受けた者は、その理由について、書面にて説明を求めることができる。

イ アにより説明を求める場合は、通知を受けた日から起算して2日以内に本学に到着させるものとする。

ウ 提出場所は4(1)に同じとする。

エ イにより書面が提出されたときは、受理した日から起算して5日以内に書面により回答するものとする。

1 3 契約書作成の要否および契約条項

- (1) 契約締結に当たっては、契約書を作成するものとする。
- (2) 契約条項は、契約書(案)のとおりとする。

- (3) 契約金額は、入札書に記載された金額に当該金額に対する消費税および地方消費税の額を加算した額とする。

1 4 契約保証金に関する事項

(1) 契約保証金の免除

落札者が、保険会社との間に本学を被保険者とする履行保証保険契約を締結し、当該保険証券を提供したときは、契約保証金を免除する。

- (2) 前号の規定による契約保証金の納付免除に該当しない落札者は、落札額（入札書記載価格に当該金額の100分の8に相当する額を加算した額）に対する100分の10以上の契約保証金を、平成30年8月30日（木）17時までに、本学財務企画課に納入しなければならない。

- (3) 契約保証金を納付する場合、納付に代えて提供できる担保

ア 国債、地方債

イ 鉄道債券、首都高速道路債券、公営企業債券、道路債券、北海道東北開発債券、電源開発株式会社債券、阪神高速道路債券

ウ 銀行、信託会社、保険会社、信用金庫、信用金庫連合会、労働金庫、労働金庫連合会、農林中央金庫、商工組合中央金庫、信用協同組合、農業協同組合、水産協同組合、塩業組合、その他貯金の受入れを行なう組合が振出しまたは支払保証をした小切手

エ 日本銀行担保、適格社債（公募社債）（例 鉄道債、電力債等の事業債）

なお、以上に掲げた担保の価値は、国債および地方債については額面金額、小切手については小切手額、その他のものについては市場価格（当該入札日前1週間程度における価格とし、その判定は、東京株式の取引価格とする。）の8割に相当する金額とする。

1 5 支払条件

前払金額は、公立大学法人福井県立大学工事請負契約約款に定める範囲内の額とする。

1 6 その他

- (1) 入札参加者は、以下の要領等を熟読の上、これらを遵守すること。ただし、電子入札は行わず、紙入札を実施するため、以下の要領等の電子入札に係るくだりはこれに依らないものとする。

ア 制限付き一般競争入札実施要領

イ 制限付き一般競争入札（事後審査）実施要領

ウ 一般競争入札公告共通事項

エ 最低制限価格制度実施要領

オ 工事入札心得

カ 工事費内訳書提出要領（工事内訳書提出・確認）

キ 福井県建設工事元請下請関係適正化指導要綱

ク 公立大学法人福井県立大学工事請負契約約款

(2) (1) の要領等は、下記ホームページに掲載されているので、確認すること。

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kanri/mitoosi.html>

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kanri/kakusyunyusatsuhoushikiindex.html>

(3) 入札に関して不明な点や疑問点等があれば、入札等に関する事務を担当する 4 (1) の部局に問い合わせること。